岩盤ボーリング柱状図

調　　査　　名　一般県道　宇賀安田線　道路改良事業に伴う測量・地質調査・設計業務委託（単独）

事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　道路　掘削・掘削のり面

ボーリング名	Br1-1	調査位置	広島県三次市甲奴町品	北緯	34° 40’ 21.9476″
発注機関	広島県北部建設事務所	調査期間	令和5年 3月 2日～ 令和5年 3月 4日	東経	133° 01’ 56.9119″
調査業者名		主任技師		現場代理人 / コア鑑定者 / ボーリング責任者	
孔口標高	TP 532.47m	角度	180°（上）90° 0°（下）0°	方向	0°北 90°東 180°南 270°西
総削孔長	9.00m	地盤勾配	16° 鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機：東邦DO-C / エンジン：ヤンマーNFD12-FK / ポンプ：東邦BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度－N値図	N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	原位置試験	室内試験	削孔状況 削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
1																10	1.15	10/300					3/2	55						
2																	1.45													
3																13	2.15	13/300												
4																	2.45													
5	527.47	5.00		流紋岩質凝灰岩	赤褐～黄褐	w5～w4	h4	E	VII～VI	d	D	0[0](100)	固結度は低く、岩組織および割れ目の存在は不明瞭である 砂質粘土状～砂質土状コアで採取される 岩級区分：DL			10	3.15	10/300						110	66／ケーシング	φ66打込みによる／打込み	0.0	0	0.0	W1	0
6																	3.45													
7																23	4.15	23/300												
8																	4.45													
9	523.47	9.00		流紋岩質凝灰岩	黄褐	w4	h3	D	VI	d	D	0[0](100)	固結度はやや高く、岩組織、割れ目の存在は明瞭である 指圧により容易に砕け、概ねシルト質微細砂状を呈する 岩級区分：DH(軟岩I)			50	5.15	50/300	300				30			10.010	0.1	W3	1
10																	5.45													
11																50以上	6.15	50/150	150											
12																	6.30													
13																50以上	7.15	50/90	90											
14																	7.24													
																50以上	8.15	50/60	60											
																	8.21													
																50以上	9.15	50/220	220											
																	9.37													